協調會ニュース

東京本部

調査部の農家經濟調査計畫

最近に於ける農村、農家の實情について、今般調査部に於ては、東北、關東、北陸、東海、近畿、中國、四國、九州等全國各地に亘り、千餘の農家につき實際調査を行ふことゝとした。

而して、本調査は專ら農家經濟近況調査並に農村事情近況調査兩票の質問票による調査であつて、八月下旬より調査票を配布し、大體九月末迄に應答到達の豫定で、農家自體を對象とし、斯る廣範圍の調査は恐らく未だ嘗てない最初の試みで、調査の結果は多大の寄與を爲すものと思ふ。

尙本調査につき、大數的には全農調査部の手を通じて實施することゝしたが、この外適當の方法により一層本調査の充實を期すべく目下計畫中である。

勞務管理研究會 八月例會

自彊組合職工住宅及び京濱諸會社經營夏期保健施設の見學並に懇談會を行ふ主旨にて八月六日例會を開催。午後二時川崎驛構内南部電車プラットフォームに集合し、南部鐵道沿線矢向にある自彊組合職工住宅を同組合大久保秀治氏の懇切なる案内説明により見學、次で川崎市扇島に至り京濱諸會社が夏期職工保健施設として經營する海水浴專用休憩所を見學す。六時より横濱市鶴見區にある鶴澄館に於て懇談會を開催、本日見學した施設を經營する日本鋼管、芝浦製作所、東京電氣、自動車工業、旭硝子、味の素の各社より説明あり、住宅施設、海水浴施設に關し會員より熱心なる質疑應答が行はれた。後別室にて懇親會を開催。各自自己紹介を行ひ、歡談爆笑盛會裡に九時散會した。

北海道職長講習會 其の他

九州と四國を合したほどの土地の廣さがあり、豐富な資源を埋藏する北海道も、場所が遠いために兎角各種の文化運動からは置いてきぼりを喰はせられることが多いが、本會は本年六月以來各種の福利運動會、研究會等を通じて、本道の福利運動全般に亘つて非常な刺戟を與へた。即ち六月下旬より七月にかけ、内務省社會局技師色川三男氏を全道各地に派遣して、安全週間の趣旨徹底の講演並災害防止に關する調査を行ひ、次で本會參事長谷孝之氏を鑛山監督局主催の勞務主任會議に列席せしめ、物價騰貴と賃銀對策についての研究發表をなさしめ、更に七月中旬に至つて、本會囑託赤間雅彦氏を派遣して、函館、札幌其他各地に於て、民謡體操の講習會を開催せしめ非常なる好評を博した。

超えて猛暑八月に入り、十三十四の兩日は札幌に、十六、十七日の兩日は函館に北海道工場協會共催で職長講習會を開催した。いづれも五十名に近い聽講者でそのハチ切れる様な緊張振りに講師も暑熱を忘れて熱演を續けた。中には遙々汽車で二十時間もかゝる釧路から聽講に來た者もあり、企業主も理解があつて、總て全二日の作業時間を割いて派遣するなど、他の府縣では見られぬ力の入れ方である。

職長講習會といひ條、講習員の中には勞務係や管理者なども可成り交つてゐたやうで、最後の日の相談會には、交々各自の經驗談や感想や官廳に對する注文やらザックバランな懇談であり、十年舊知の如き氣分で藹々裡に閉講した。因に同講習會の講師並演題は左の如くである。

産業協力の基調　協調會常務理事　蒲生俊文
勞務管理と職長　協調會參事　長谷孝之
職長の任務　協調會參事　大内經雄

終りに北海道工場課長並工場協會關係者各位の熱心なる斡旋に對し深甚なる謝意を表する。

戰時勞働對策懇談會

支那事變の進展に伴ひ本會に於ては戰時勞働對策懇談會を設け、九月十一日午後五時より三階會議室に於て第一回の會合を開催戰時動員と勞働力補給の問題を中心に研究懇談のこととなつた。參會者は社會局、陸、海軍省、企畫廳、資源局民間側等約二十氏。本懇談會は繼續的に開催し、戰時中及戰後の勞働對策を考究する豫定である。

體育指導

各地方からの體育指導員派遣の要求は引きも切らず本會囑託赤間雅彦氏は殆んど旅から旅の活躍で休息の間も無い位、本會としてもお氣の毒に考へて居る次第であるが、八月に入つては左記の通り出張された。

一、福井縣下實地指導
福井市（二日及三日）
勝山町　四日
鯖江町　五日
春江町　六日
三國町　七日
二、愛知縣下名古屋市（九、及十兩日）
三、山形縣下
鶴岡市　二十三日
宮内町　二十五日
米澤市　二十七日
四、福島縣
福島市　三十及三十一日

緑化指導

本會囑託坂本金吾氏は福岡縣下の各工場鑛山の要求により緑化の實地指導を行つたが、その工場名等は左の如くである。

日本化學工業小野田工場（八月十一、十二日）
高松炭礦第一第二鑛（八月十三、十四日）
日本製鐵二瀬礦業所（八月十六、十七、十八日）
岡部鐵工所　昭和鐵工株式會社（八月十九日）

フイルム利用狀況（八月中）

打てよ魂全六卷　山形縣工場協會
閻魔は怒る全一卷　東京工場協會
十六ミリ安全戰線全四卷　〃
十六ミリ打てよ魂全六卷　〃
打てよ魂全六卷　長野縣工場懇話會
安全戰線全四卷　〃
十六ミリ打てよ魂全六卷　東京市産業局商工課

協調會圖書館

八月中に於ける閲覽者延人員は一一三名、内本會職員三五名、他は官公吏一二名、會社工場職員一三名、研究團體調査員一七名、勞働組合關係者四名、教授學生一一名、其他二一名の内譯である。開館日數は二六日間で、午前中のみの開館であつた。尙九月一日よりは午後四時まで一日開館となるから、充分御利用を頂きたい。

大阪支所

勞務管理研究會では去る八月四日臨時研究會の席上に於て左の如き申合を致しました。

申合事項

今回ノ事變ニ際シ本會々員會社ハ應召者家族並遺族ヲ能フ限リ優遇シ以テ應召者ヲシテ後顧ノ憂無カラシムルト共ニ各々協力一致シテ益々産業報國ノ實ヲ擧ゲ非常時局ニ對處セン事ヲ望ム

名古屋出張所

七月二十六日午後一時半より協調會及名古屋産業福利研究會主催の下に特別研究會を開催氷川大湖編輯長及第三師團參謀を招聘今回事變の特質及將來の動向に就て講演があつた。

福岡出張所

企畫廳調査官栗原美能留氏並鶴島瑞夫稻葉秀三諸氏の來縣を機會に九月一日福岡市天神町昭和生命會館に於て福岡地方産業福利部委員有志懇談會を開催、勞働者の需給並現下重要勞働問題を中心に意見を交換し頗る意義ある結果を得て閉會した。

編輯後記

○もう簡單に納まりそうにもない。國防は勿論のこと、外交、産業、經濟、勞働等各分野に於て、新原理が確立されなければならぬ秋となつた。

○情熱と信念に滿ちた津田社長の主張は、沈滯しきつた現代人にとつて一つの大きな活力素である。

○大島氏の北支實地視察談、勝間田氏の人生觀は共に明朗な曇のない觀察である。新時代を指導すべき若き青年である。

○不滿を忍んで協力したのでは、永續きはしない。事變後の不統一が豫想される今日に於て、町田常務理事の卷頭文は熟讀頑味を要する。

○編輯室の中に出征兵士を送る萬歳の聲が、とめどなくきこへてくる。我々の職場も亦戰場である。

協調

編輯發行人　東京市芝區芝公園六號地協調會　町田辰次郎
印刷所　東京市芝區西芝浦三丁目二番地　川口印刷所
發行所　東京市芝區芝公園六號地　財團法人　協調會　電話芝一一三一　振替口座東京五三、七〇四
毎月一回十五日發行　定價一部金五錢

時局と勞働時間問題

協調會常務理事　長岡保太郎

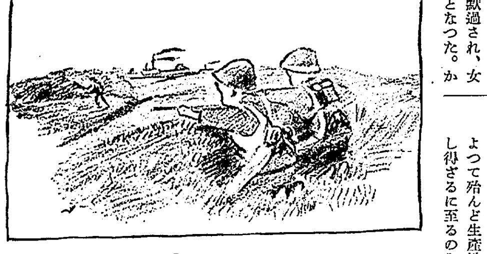
今般内務省社會局に於ては時局に鑑みて、軍需品工場における勞働保護特に**勞働時間問題について最長限を定め**積極的な保護指導に乘り出すことに肚をきめたと報ぜられてゐる。寔に機宜を得た措置と言はねばならぬ。支那事變勃發以來、全國の軍需品工場では全智全能を傾注して、生産に遺憾なきを期してゐるのであつて、そのため殘業居殘りの増加延長は勿論休日等も廢止してゐるものも尠くないが、工場の指導者は素より一般従業員も、思を北支に上海に勇戰する將士に致し、如何なる勞働の強化にもよく耐へてその任務の遂行に邁進してゐる有様は眞に泪ぐましい限りである。私はこの有様を熟知しつゝ、否寧ろ熟知するが故に一府今回の社會局の措置を多とせざるを得ないのである。世間には事變前に所謂**勞働強化問題**が相當取上げられて論議されたが、愈々事變となるに及んで、「此際は」と言ふ事で、之を強く問題とすることを差控へたりする傾向さへ見えるやうであるが、これは思はざるも甚しい短見と言はねばならぬ。

緊急の必要に迫られる場合には、勿論殘業も徹夜も止むを得ないし、又それが短期間であるならば大した弊害もあるまい。

幸に事變が極めて短期間に片付くならば是程喜ぶべきことはないが、支那事變が片付いてもそれだけでは濟まぬかも知れない。今日から勞働力を愛護しこれを大事に維持してゆくことが甚だ肝要であると信ずる。

嘗つて歐洲大戰に於ける交戰國の經驗中、今日我が國の事態に對して他山の石として參酌さるべきもの尠くないが、就中イギリスは戰爭の初期に當り**勞働時間對策**について甚しく失敗したことは識者の均しく認むる處である。有名なニューマン委員會の報告書によれば、イギリスは大戰の初期に於て勞働時間の從來の制限を著しく緩和した。即ち、從來嚴禁してゐた成年男工の連続せる日曜作業並に女子及び青少年に嚴禁してゐた日曜作業も許してしまひ、殘業延長なども殆んど自由に默過され、女子の夜業も日常の事となつた。かくて、一週九十時間が珍しくなく、甚だしきは百時間も働く有様となつた。しかも、これ等の勞働者の中には、これまで勞働の經驗なく、時局のために俄かに勞働に從事したものが可成り多く、従つて體格も十分でない者が多かつたに拘らず、この長時間勞働は種々なる理由によつて、開戰後少くとも一年以上無秩序的に持續されたのである。

然しながら實際の結果は甚だ好ましからざるものとなり、結極生産能率の上からも勞働者の保健の上からも**弊態故障**が隨處に生ずるやうになつた。ニューマン委員會の調査は極めて綴密且つ尨大なものであるが、その勞働時間に關する主たる結論的部分だけを紹介すると、



（イ）長時間勞働は勞働者に對し結局過重負擔を課すること

（ロ）一定の時期後に至れば生産率は減少し、時間外勞働によつて殆んど生産増加を結果し得ざるに至るのみならず、生産品の品質は獨り時間外勞働の間のみならず、その他の時間に於ても低下することに至ること

（ハ）時間の延長に伴ひ、中斷時間が増加する。勞働者は疲勞のため休憩を取り、病人は増すに至る。特に老年者及虚弱者に於て然ること

（ニ）長時間勞働の結果たる疲勞は、飲酒の癖を起させる。即ち疲れすぎて食慾を起さなくなり、アルコールを求むるに至ること

（ホ）尚特に經營者側職長等は普通の勞働者の如く休む譯にも行かないため甚しい過勞狀態を呈すること

等を擧げてゐる。

かくて同委員會は翌一九一六年に至つて**勞働時間制限**に關する覺書を作成した。この覺書に示された勞働時間は成年男子について言へば一週勞働時間平均六十五乃至六十七時間（食事時間を除く）を超過すべからずと言つた風のもので――我國のそれとは餘程開きのあるものであるが――この勸告はイギリスに於ては一般に極めて公平且つ適當のものとして受取られ廣く採用されるやうになり、且つ直後に内務軍需兩大臣の間に協議が進められ、本勸告を基礎として一般的命令（女子及青少年の勞働時間を含む）が發せられ、遂に緩和した從來の制限を復活したのみならず、新に相當積極的な制限をなすに至つた。

私はこゝにこの大戰中にイギリスの經驗した勞働時間對策の經緯――これは明かに失敗の經驗である――を想起し之を今次の内務省社會局の決意と對照し深き敬意を表すると共に、此際野に於ける關係當事者各位におかれても生産註文の緊急性並に勞力不足のため交替制採用の困難等實際上の障害多々存することを痛感致すのであるが、特にこの時間問題に關しては、徒らに一時的興奮や糊塗彌縫に終ることなく十分**愼重に考究**せられ、悔を後年に殘すが如きことのないやう切望して止まぬ次第である。